

参照し、可能の範圍に於て、現存する關係者の意見を徴し作製した。従つて極めて不十分、不満足な點多々あることを保し難い。

第一、ジャバ攻略から第二段作戦發令までの概要

一九四二年三月上旬ジャバ本島の攻略を了した日本軍が、寸暇の休息もなく、引續きスマトシ北部、アングマン諸島、ビルマ及び西部ニューギニア方面に進攻或は截定作戦の歩を進めて行つたことは、前章に於て記述するところがあつた。しかしてその記憶を新にし、且つはまた其の後の第二段作戦への轉換の情況を明にする爲、重複をいとはずその概要を述べれば次の通りである。

一九四二年三月上旬の終り、ビルマ方面に於ては泰方面から陸路進撃した第十五軍はラングーンに突入し、ジャバ本島またわが軍門に降つた。

更に三月十二日には義にマレー攻略に任じた第二十五軍麾下の部隊が海軍部隊護衛の下に北スマトラ方面クタラジャ等に上陸した。

三月二十三日未明にはわが陸海軍部隊がアングマン諸島に上陸を企圖し、直にこれを占領した。これとほぼ同時にシンガポールから進撃したビルマ方面攻略陸軍輸送船団は、三月二十四日未明を第一次とし、陸路ラングーンに到着し、直ちに攻撃を進めて行つた。これ等の陸軍部隊は四月二十九日には緬支國境ヲシオを、五月一日には要衝マングレーを、次いでバード、雲南、龍陵、アキヤブを攻略した。

アングマン、ビルマ方面上陸作戦に關聯する一連の作戦として、機動部隊及び南遣艦隊の大部を以つてする印度洋方面の作戦が行はれた。

(本作戦の詳細は機動部隊の作戦の項に詳しい。) 本作戦はケンダリーか

ら出撃し、スンダ列島線を抜け、印度洋に機動した機動部隊のセイロン島方面航空攻撃を主体としこれに策應し、南遣艦隊のベンガル湾方面機動が行はれた。本作戦はほぼ所期の成果を収めた。

本作戦の終了を以つて、主戦部隊を以つてする南方方面作戦は一段落を告げたので、比島方面敷定作戦及び西部ニューギニア方面敷定作戦（何れも前章第六項北スマトラ攻略及び南西方面各地の敷定作戦に記述）が未終了ではあるが、一九四二年四月十日聯合艦隊第二段作戦兵力部署が下令された。本兵力配備の下令に依り、従来南方作戦全般指揮に任じた第二艦隊司令長官はその任を解かれ、且つまた、従来南方地域に置かれてゐた日本海軍兵力配備の重點が東正面に轉換せられることとなつた。

### 第二 聯合艦隊第二段作戦兵力部署の發令